

平成 21 年度 大栄経理学院

# 第 124 回日商簿記検定試験 模範解答

## 2 級

### 商 業 簿 記

第 1 問 ( 20 点 )

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	建 物	250,000	現 金 預 金	400,000
	修 繕 引 当 金	300,000	未 払 金	300,000
	修 繕 費	150,000		
2	前 受 金	760,000	売 上	760,000
	売 掛 金	560,000	受 託 販 売	558,000
	発 送 費	3,000	現 金 預 金	5,000
3	租 税 公 課	125,500	未 払 消 費 税	125,500
4	売 買 目 的 有 価 証 券	3,871,000	現 金 預 金	3,881,280
	有 価 証 券 利 息	10,280		
5	車 両 減 価 償 却 累 計 額	2,295,000	車 両	3,000,000
	減 価 償 却 費	225,000	未 払 金	3,400,000
	車 両	3,600,000		
	固 定 資 産 売 却 損	280,000		

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点。( 配点は、当学院の予想です )

## 第 2 問 ( 20 点 )

残 高 試 算 表

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
11 月 30 日現在	11 月 1 日現在		11 月 1 日現在	11 月 30 日現在
480,950	262,000	当 座 預 金		
95,070	78,500	受 取 手 形		
212,000	191,000	売 掛 金		
13,000	22,500	売買目的有価証券		
47,000	47,000	繰 越 商 品		
600,000	900,000	土 地		
600,000	600,000	建 物		
		支 払 手 形	69,500	81,500
		買 掛 金	165,000	150,000
		借 入 金	170,000	100,000
		所 得 税 預 り 金	84,000	96,000
		貸 倒 引 当 金	26,500	26,500
		建物減価償却累計額	216,000	216,000
		資 本 金	1,212,000	1,212,000
		売 上	2,675,000	3,057,000
		有価証券売却益	15,600	16,400
1,808,600	1,582,600	仕 入		
1,080,000	945,000	給 料		
3,500	3,150	支 払 利 息		
2,280	1,850	手 形 売 却 損		
13,000		固定資産売却損		
4,955,400	4,633,600		4,633,600	4,955,400

 1 つにつき 2 点 合計 20 点。( 配点は、当学院の予想です )

## 第 3 問 (20 点)

## 精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	568,000		180,000				748,000	
現 金 過 不 足		13,000	18,000	3,000				
				2,000				
当 座 預 金	1,100,000						1,100,000	
受 取 手 形	2,863,000						2,863,000	
売 掛 金	3,175,000			18,000			3,157,000	
売買目的有価証券	870,000		15,000				885,000	
繰 越 商 品	901,000		946,000	901,000			785,000	
				90,000				
				71,000				
建 物	5,000,000		1,200,000				6,200,000	
備 品	2,000,000			500,000			1,500,000	
建 設 仮 勘 定	1,000,000			1,000,000				
支 払 手 形		2,374,000						2,374,000
買 掛 金		1,295,500						1,295,500
社 債		1,983,500		6,000				1,989,500
貸 倒 引 当 金		295,000		6,000				301,000
建物減価償却累計額		1,200,000		165,000				1,365,000
備品減価償却累計額		900,000	315,000	135,000				720,000
資 本 金		6,000,000						6,000,000
利 益 準 備 金		900,000						900,000
繰越利益剰余金		1,065,000						1,065,000
売 上		20,185,000				20,185,000		
受 取 手 数 料		1,274,000		12,000		1,286,000		
受 取 配 当 金		65,000				65,000		
仕 入	17,021,000		901,000	946,000	17,113,300			
			90,000					
			47,300					
給 料	1,844,000				1,844,000			
販 売 費	1,046,000		3,000		1,049,000			
支 払 保 険 料	135,000			4,500	130,500			
社 債 利 息	27,000		9,000		42,000			
			6,000					
	37,550,000	37,550,000						
雑 ( 損 )			2,000		2,000			
減 価 償 却 費			45,000		345,000			
			300,000					
固定資産売却益				40,000		40,000		
未 払 金				200,000				200,000
商 品 評 価 損			90,000	90,000				
棚 卸 減 耗 損			71,000	47,300	23,700			
有価証券評価(益)				15,000		15,000		
貸倒引当金繰入			6,000		6,000			
未 払 利 息				9,000				9,000
前 払 保 険 料			4,500				4,500	
未 収 手 数 料			12,000				12,000	
当 期 純 利 益					1,035,500			1,035,500
			4,260,800	4,260,800	21,591,000	21,591,000	17,254,500	17,254,500

 1 つにつき 2 点 合計 20 点

## 工業簿記

## 第 4 問 (20 点)

賃金・給料		製造間接費	
支 払 額 ( <input type="text" value="3,468,000"/> )	前月繰越 ( <input type="text" value="855,800"/> )	間接材料費 300,000	予定配賦額 ( 5,040,000 )
次月繰越 ( <input type="text" value="775,500"/> )	消 費 額 ( <input type="text" value="3,386,000"/> )	間接労務費	
	原価差異 ( <input type="text" value="1,700"/> )	賃金・給料 ( <input type="text" value="2,000,000"/> )	
( 4,243,500 )	( 4,243,500 )	賞与引当金 ( <input type="text" value="800,000"/> )	
		間 接 経 費 1,900,000	
		原 価 差 異 40,000	
		( 5,040,000 )	( 5,040,000 )
仕 掛 品			
月 初 有 高 ( <input type="text" value="59,630"/> )	完 成 高 9,000,000		
直接材料費 2,566,230	月 末 有 高 51,860		
直接労務費 ( <input type="text" value="1,386,000"/> )			
製造間接費 ( <input type="text" value="5,040,000"/> )			
( 9,051,860 )	( 9,051,860 )		

1 つにつき 2 点 合計 20 点。(配点は、当学院の予想です)

## 第 5 問 (20 点)

## 問 1

直接原価計算による損益計算書		( 単位 : 円 )
売上高	(	8,000,000 )
変動売上原価	(	<input type="text" value="2,800,000"/> )
変動製造マージン	(	5,200,000 )
変動販売費	(	<input type="text" value="200,000"/> )
貢献利益	(	5,000,000 )
製造固定費	(	<input type="text" value="1,200,000"/> )
固定販売費および一般管理費	(	<input type="text" value="2,200,000"/> )
営業利益	(	1,600,000 )

## 問 2

当期の損益分岐点の売上高 =  円

## 問 3

次期に営業利益を 2 倍にする売上高 =  円

問 1  1 つにつき 3 点

問 2・3 各 4 点 合計 20 点。(配点は、当学院の予想です)

## 【 2 級解説】

## 第 1 問

1. 耐震構造強化のための支出は、建物の価値を高めるための支出であるため資本的支出として「建物」勘定で処理する。また、その他の修繕部分については「修繕費」勘定で処理するが、修繕引当金が設定されている場合はそれが充当できる。
2. 予約販売については、商品引渡し時に「前受金」勘定を取り消し売上を計上する。受託販売については、商品引渡し時には「受託販売」勘定を計上する。
3. 消費税の会計処理について税込処理を採用しているときは、決算時において、支払うべき消費税の確定額を「租税公課」勘定で処理する。

$$4. \text{ 売買目的有価証券} : ¥4,000,000 \times \frac{¥96.55}{¥100} + ¥9,000 = ¥3,871,000$$

$$\text{有価証券利息} : ¥4,000,000 \times 1.285\% \times \frac{73\text{日}}{365\text{日}} = ¥10,280 \quad (\text{注}) 73\text{日} \cdot 10/1 \sim 12/12 \text{の日数}$$

$$5. \text{ 減価償却費} : (¥3,000,000 - ¥300,000) \times \frac{15,000\text{km}}{180,000\text{km}} = ¥225,000$$

## (1) 旧車両の売却

( 車両減価償却累計額 )	2,295,000	( 車	両 )	3,000,000
( 減 価 償 却 費 )	225,000			
( 未 収 金 )	200,000			
( 車両運搬具売却損 )	280,000			

## (2) 新車両の購入

( 車	両 )	3,600,000	( 未 収 金 )	200,000
			( 未 払 金 )	3,400,000

## 第 2 問

各仕訳帳の仕訳は以下の通りである。

## 当座預金出納帳より

( 当 座 預 金 )	626,300	( 売 上 )	96,000
		( 売 掛 金 )	175,000
		( 受 取 手 形 )	43,930 <sup>*1</sup>
		( 受 取 手 形 )	14,070
		( 土 地 )	287,000
		( 売買目的有価証券 )	9,500
		( 有価証券売却益 )	800
		( 当 座 預 金 )	407,350
( 仕 入 )	41,000		
( 買 掛 金 )	137,000		
( 支 払 手 形 )	36,000		
( 給 料 )	123,000		
( 借 入 金 )	70,000		
( 支 払 利 息 )	350		

## 仕入帳より

( 仕 入 )	226,000	( 当 座 預 金 )	41,000
		( 買 掛 金 )	158,000
		( 支 払 手 形 )	27,000

## 売上帳より

( 当 座 預 金 )	96,000	( 売 上 )	382,000
( 売 掛 金 )	229,000		
( 受 取 手 形 )	57,000		

## 支払手形記入帳より

( 仕 入 )	27,000	( 支 払 手 形 )	48,000
( 買 掛 金 )	21,000		

## 受取手形記入帳より

( 受 取 手 形 )	75,000	( 売 上 )	57,000
		( 売 掛 金 )	18,000

## 普通仕訳帳より

11/5 ( 買 掛 金 )	15,000	( 売 掛 金 )	15,000
12 ( 当 座 預 金 )	287,000	( 土 地 )	300,000
( 固定資産売却損 )	13,000		
18 ( 当 座 預 金 )	14,070	( 受 取 手 形 )	14,500
( 手 形 売 却 損 )	430		
25 ( 給 料 )	135,000	( 所 得 税 預 り 金 )	12,000
		( 当 座 預 金 )	123,000

\*1 当座預金出納帳の受取手形欄合計 ¥ 58,000のうち、¥ 14,070は普通仕訳帳との二重仕訳であるため、それを除いた部分の金額である。

## 第 3 問

## [資料]

1) ( 現 金 過 不 足 )	18,000	( 売 掛 金 )	18,000
( 販 売 費 )	3,000	( 現 金 過 不 足 )	3,000
( 雑 損 )	2,000	( 現 金 過 不 足 )	2,000
2) ( 備品減価償却累計額 )	315,000	( 備 品 )	500,000
( 減 価 償 却 費 )	45,000 *1	( 固 定 資 産 売 却 益 )	40,000
( 現 金 )	180,000		
( 建 物 )	1,200,000	( 建 設 仮 勘 定 )	1,000,000
		( 未 払 金 )	200,000

\*1 ( ¥ 500,000 - ¥ 50,000 ) ÷ 10 年 = ¥ 45,000

## [資料]

## 1. 売上原価の算定について

( 仕 入 )	901,000	( 繰 越 商 品 )	901,000
( 繰 越 商 品 )	946,000 *1	( 仕 入 )	946,000
( 棚 卸 減 耗 費 )	71,000 *2	( 繰 越 商 品 )	161,000
( 商 品 評 価 損 )	90,000 *3		
( 仕 入 )	137,300	( 棚 卸 減 耗 費 )	47,300
		( 商 品 評 価 損 )	90,000

\*1 850 個 × @ ¥ 260 + 700 個 × @ ¥ 350 + 800 個 × @ ¥ 600 = ¥ 946,000

\*2 ( 850 個 - 800 個 ) × @ ¥ 260 + ( 700 個 - 620 個 ) × @ ¥ 350 + ( 800 個 - 750 個 ) × @ ¥ 600  
= ¥ 71,000

\*3 A・B 商品については、時価が簿価を上回っているため評価替えの必要はない。

$$(@ ¥600 - @ ¥480) \times 750 \text{ 個} = ¥90,000$$

\*4  $¥946,000 \times 5\% = ¥47,300$

## 2. 売買目的有価証券の評価替について

( 売 買 目 的 有 価 証 券 )	15,000 <sup>*1</sup>	( 有 価 証 券 評 価 益 )	15,000
---------------------	----------------------	-------------------	--------

\*1 簿価総額：¥870,000 (整理前試算表の売買目的有価証券より)

$$\text{時価総額：} @ ¥1,500 \times 200 \text{ 株} + @ ¥3,600 \times 100 \text{ 株} + @ ¥1,500 \times 150 \text{ 株} = ¥885,000$$

$$¥885,000 - ¥870,000 = ¥15,000 (\text{評価益})$$

## 3. 貸倒引当金の設定について

( 貸 倒 引 当 金 繰 入 )	6,000 <sup>*1</sup>	( 貸 倒 引 当 金 )	6,000
-------------------	---------------------	---------------	-------

\*1 受取手形期末残高：¥2,863,000

$$\text{売掛金期末残高：} ¥3,175,000 - ¥18,000 = ¥3,157,000$$

$$(\text{¥2,863,000} + \text{¥3,157,000}) \times 5\% - ¥295,000 = ¥6,000$$

## 4. 減価償却について

( 減 価 償 却 費 )	300,000	( 建 物 減 価 償 却 累 計 額 )	165,000 <sup>*1</sup>
		( 備 品 減 価 償 却 累 計 額 )	135,000 <sup>*2</sup>

\*1 既 存 分：(¥5,000,000 - ¥500,000) ÷ 30 年 = ¥150,000

$$\text{期中取得分：} (\text{¥1,200,000} - \text{¥120,000}) \div 30 \text{ 年} \times \frac{5 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥15,000$$

\*2 {(¥2,000,000 - ¥500,000) - ¥150,000} ÷ 10 年 = ¥135,000

## 5. 社債について

( 社 債 利 息 )	15,000	( 社 債 )	6,000 <sup>*1</sup>
		( 未 払 利 息 )	9,000 <sup>*2</sup>

社債は発行から前期末まで 4 年 3 カ月(51 カ月)が経過しているため、額面金額と決算整理前試算表の社債帳簿価額 ¥1,983,500 の差額を、残り 2 年 9 カ月(33 カ月)で償却すればよい。

\*1 当期償却額：(¥2,000,000 - ¥1,983,500) ×  $\frac{12 \text{ カ月}}{33 \text{ カ月}} = ¥6,000$

\*2  $¥2,000,000 \times 1.8\% \times \frac{3 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥9,000$

## 6. 保険料について

( 前 払 保 険 料 )	4,500	( 支 払 保 険 料 )	4,500
---------------	-------	---------------	-------

## 7. 受取手数料について

( 未 収 手 数 料 )	12,000	( 受 取 手 数 料 )	12,000
---------------	--------	---------------	--------

## 第 4 問

## 賃金・給料勘定

前月繰越額(月初未払額) :  $455,800 \text{ 円} + 300,000 \text{ 円} + 100,000 \text{ 円} = 855,800 \text{ 円}$

次月繰越額(月末未払額) :  $395,500 \text{ 円} + 270,000 \text{ 円} + 110,000 \text{ 円} = 775,500 \text{ 円}$

## 当月消費額

直接工 :  $@2,200 \text{ 円} \times 630 \text{ 時間} = 1,386,000 \text{ 円}$  (仕掛品勘定へ)

間接工 :  $900,000 \text{ 円} - 300,000 \text{ 円} + 270,000 \text{ 円} = 870,000 \text{ 円}$  (製造間接費勘定へ)

給 料 :  $1,120,000 \text{ 円} - 100,000 \text{ 円} + 110,000 \text{ 円} = 1,130,000 \text{ 円}$  (製造間接費勘定へ)

$1,386,000 \text{ 円} + 870,000 \text{ 円} + 1,130,000 \text{ 円} = 3,386,000 \text{ 円}$

## 原価差異

直接工実際消費額 :  $1,448,000 \text{ 円} - 455,800 \text{ 円} + 395,500 \text{ 円} = 1,387,700 \text{ 円}$

直接工予定消費額 :  $1,386,000 \text{ 円}$

$1,386,000 \text{ 円} - 1,387,700 \text{ 円} = 1,700 \text{ 円}$  (不利(借方)差異)

## 製造間接費勘定

賃金・給料 :  $870,000 \text{ 円} + 1,130,000 \text{ 円} = 2,000,000 \text{ 円}$

賞与引当金 :  $9,600,000 \text{ 円} \div 12 \text{ ヶ月} = 800,000 \text{ 円}$

予定配賦額 : 貸借差額により  $5,040,000 \text{ 円}$

## 仕掛品勘定

直接労務費 :  $1,386,000 \text{ 円}$

製造間接費 :  $5,040,000 \text{ 円}$

月 初 有 高 : 上記判明後、貸借差額により  $59,630 \text{ 円}$

## 第 5 問

## 問 1

売上高 :  $@200 \text{ 円} \times 40,000 \text{ 個} = 8,000,000 \text{ 円}$

変動売上原価 :  $(@40 \text{ 円} + @10 \text{ 円} + @20 \text{ 円}) \times 40,000 \text{ 個} = 2,800,000 \text{ 円}$

変動販売費 :  $@5 \text{ 円} \times 40,000 \text{ 個} = 200,000 \text{ 円}$

## 製造固定費

全部原価計算の売上原価  $4,000,000 \text{ 円}$  のうち、固定費となる部分が製造固定費である。この売上原価のうち変動費部分は  $2,800,000 \text{ 円}$  であるため、残りの  $1,200,000 \text{ 円}$  が製造固定費である。

## 問 2

損益分岐点の売上高とは、営業利益がゼロとなるときにの売上高である。

販売数量を  $x$  とおくと

売 上 高	$200x$
変 動 費	$75x$
貢 献 利 益	$125x$
固 定 費	$3,400,000 \text{ 円}$
営 業 利 益	$0 \text{ 円}$

$$125x - 3,400,000 \text{ 円} = 0$$

$$x = 27,200 \text{ 個}$$

損益分岐点の売上高 :  $27,200 \text{ 個} \times @200 \text{ 円} = 5,440,000 \text{ 円}$



## 問 3

営業利益を当期の 2 倍にするということは、営業利益が 3,200,000 円となるときの売上高を求めればよい。

販売数量を  $x$  とおくと、

売 上 高	$200x$
変 動 費	$75x$
貢 献 利 益	$125x$
固 定 費	3,400,000 円
営 業 利 益	3,200,000 円

$$125x - 3,400,000 \text{ 円} = 3,200,000 \text{ 円}$$

$$x = 52,800 \text{ 個}$$

$$\text{営業利益を 2 倍にする売上高} : 52,800 \text{ 個} \times @200 \text{ 円} = 10,560,000 \text{ 円}$$